

1. はじめに

アメリカ疾病予防管理センター（CDC）内で、シェイクスピアの戯曲ハムレットの名句引用が流行っているという。「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ」と一般に翻訳されるもので、原文では「To be, or not to be, that is the question」と書かれる。これをもじり、「To mask, or not to mask, that is the question（マスクするべきか、しないか、それが問題だ）」と職員が頭を抱えて呟いているようだ。

コロナ変異種のデルタ株が登場したことにより、マスク着用義務などの規制強化を改めて推進すべきか判断しないとイケないためである。ワクチン接種が全米で広がった成果として多くの場所で規制が緩和されつつある中、改めて規制方針を出すことは、人々の心理的抵抗もあり容易でないことは想像に難くない。

2. 展示会状況

数週間前になるが、当社は展示会出展を補佐する仕事をいただき、久しぶりに対面式の展示会に参加する機会に恵まれた。参加してみると、例年に比べて来場者が減少したことを除けば、コロナ以前と何ら変わらない展示会という印象を受けた。来場者の検温義務もなければ、殺菌用のスプレーが出入り口に用意されているわけでもなく、マスク着用についても規定は設けられていなかった。

とはいえ、会場をざっと見渡してもマスクをしているのは当社からの参加者だけという状況で、マスク着用率のあまりの低さには驚かされた。数日を通した見立てで0.1%程の人しかマスクは着用していなかったのではないだろうか。これは食事のサーバーや自分たちを含めての目算であるため、マスクをしている側がいかにもマイナーな存在だったかとお分かりいただけることと思う。地域的な偏りを加味する必要があるにしろ、多くの人間が1つの場所に集まる場でのこうした状況を直に見た側としては、CDCの悩みが分かる気もしている。

3. 米国内勢データ抜粋

デルタ株の広がりを見目に、米国の経済活動は回復の様相を呈しており、前述のもの以外にも多くの展示会が今年中の開催を決定したことからもそれはうかがえる。粉体関係では8月24～26日の間に米国パウダーショー（International Powder & Bulk Solids Conference and Exhibition）が予定通り開催される。

参加に対して不安はあるものの、数年越しの開催となることから業界関係者の期待値は高まっているようで、「展示会で直接話をしたい」といった要望は実際に当社でも何件かいただいている。

この調子でコロナが収束する場合、経済が徐々

に回復するという希望的観測のもと、改めて米国進出を中長期的に検討される日系企業もあるかもしれない。

そこで何らかの参考になるかと思い、当社が立地するイリノイ州と、比較用にニューヨーク州の賃貸料相場や国勢データについて調べてみたので一部紹介したい。

〈イリノイ州全体〉

住宅賃貸料中央値：\$1,010/月

オフィス賃貸料平均：\$26.06/月/平方フィート
（*1m²=10.76平方フィート）

世帯収入中央値：\$65,886/年

一人当たりの収入中央値：\$36,038/年

〈イリノイ州シカゴ〉

住宅賃貸料中央値：\$1,112/月

オフィス賃貸料平均：\$33.50/月/平方フィート

世帯収入中央値：\$58,247/年

一人当たりの収入中央値：\$37,103/年

〈ニューヨーク州全体〉

住宅賃貸料中央値：\$1,280/月

オフィス賃貸料平均：\$42.71/月/平方フィート

世帯収入中央値：\$68,486/年

一人当たりの収入中央値：\$39,326/年

〈ニューヨーク市〉

住宅賃貸料中央値：\$1,443/月

オフィス賃貸料平均：\$69.08/月/平方フィート

世帯収入中央値：\$63,998/年

一人当たりの収入中央値：\$39,828/年

各データは米国内勢調査局（U. S. Census Bureau）のサイトから引用したが、賃貸料は借りる物件がスタジオタイプ（ワンルーム）か、寝室が1つの1ベッドルーム、もしくは2つ、3つあるのか、など部屋やトイレ・バスルームの数によって大きく変わるため、ご関心のある方は条件に合わせて詳細なデータを調べることを推奨したい。なお、前記データは2015～2019年度までが集計対象になっており、変動の大きい直近の2020年度分はまだ加味されていないことを記しておきたい。

4. おわりに

米国でも「with コロナ」社会は暫く続くと思定できることから、これから米国での事業を検討される場合には、コロナ以前と変化した人々の生活や労働に対する考え方にも注意したい。多様性ある国の動きを一概に語るのは難しいが、こういった変化を掴むのに前述したような指標を追うのは有益かと思う。

一個人としては、ワクチン接種をしても罹患の可能性のあることを理解し、感染を広げる要素を自身が持ちうることを認識したうえで、例えばマスクを着用するなど、適宜必要な行動をとるのが賢明と言える。